

～ はじめまして ～



湊 寛美



昨春に入社して9ヶ月が経ちました、湊です。「かけはし」では初登場となります。どうぞよろしくお願いいたします。

会社の朝礼で毎朝体操をするようになり、そのおかげか先日連休があった時、急にこたつから立ち上がって体操を始めてたので、家族にびっくりされました。もう毎日の良い習慣になっているようです。

運動といえば、時々旦那と山に登ったり、テニスをしたりしています。まだまだ寒い日が続きますが、とにかく楽しみながら体を動かして、この冬を元気に乗り越えたいです。

私のつぶやき

～ はじめまして ～



橋本 駿



昨年の10月1日付でビジネスプランに入社しました。橋本 駿といいます。私は念には念を入れるタイプなのですが、その分仕事が遅いのが欠点です。これからは先輩方を見習って、少しでもテキパキと仕事をこなせるように頑張っていきたいです。

休日の過ごし方は、映画鑑賞、読書(漫画)などをしてインドアに過ごしています。週刊少年ジャンプは10年間愛読しています。紙媒体だけではなく、最近はインターネットでも電子版として配信しているようなので、技術革新に驚きです。

かけはし

 Vol.35
 冬号

 2018年1月



コメディ・クラウン・サーカスを開催いたしました!

✿ 1～3月の税務・お知らせ ✿

- ・1月・・・源泉所得税の納付
支払調書・合計表の作成
固定資産税の償却資産に関する申告
- ・2,3月・・・29年分所得税の確定申告
(2月16日から3月15日)
29年分贈与税の申告
(2月1日から3月15日)

お休みカレンダー

2018年 1月							2018年 2月							2018年 3月						
日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土
	1	2	3	4	5	6					1	2	3					1	2	3
7	8	9	10	11	12	13	4	5	6	7	8	9	10	4	5	6	7	8	9	10
14	15	16	17	18	19	20	11	12	13	14	15	16	17	11	12	13	14	15	16	17
21	22	23	24	25	26	27	18	19	20	21	22	23	24	18	19	20	21	22	23	24
28	29	30	31				25	26	27	28	29			25	26	27	28	29	30	31




華やかなお正月の飾りです(こ)



もうすぐ、こんな風景も…
見ただけで、さ、寒い……

わたしたちは、たくさんの“ありがとう”を集め、日本の中小企業を元気にします！
 過去のニュースレター「かけはし」は、弊社ホームページからご覧頂けます。

 ビジネスプラン / あんの会計

〒698-0041 島根県益田市高津一丁目1番1号
 TEL(0856)23-6116 FAX(0856)23-6674
 E-mail bplan@sx.miracle.ne.jp
 HP http://annokaikei.com

こんにちは、安野広明です。新年、明けましておめでとうございます！

1月3日(水)に、当社の地域貢献活動としての「第3回コメディ・クラウン・サーカスin益田」を開催いたしました。お陰様で、1回目はほぼ満席、2回目の公演にもたくさんの方がご参加下さり、お子様を始め、皆さんに喜んでいただくことができました。改めて、新年をご家族と笑顔でスタートできる当イベントは素晴らしいと感じます。ご参加下さった皆様、ありがとうございました！



代表取締役
安野 広明

さて、今年は戌年です。戌年には、「地盤を守る」という意味があるそうですね。商売で言えば、アフターフォローなどによって信頼関係をより強固にする年となります。弊社としても、お客様や地域の皆様とのご縁がより強固にできるよう、「良樹細根、大樹深根」(=細かく根が張っている木は枝葉もよく茂る木になる。また、根が深くまで張っている木は、その分、大きな木になるという意味)の精神で、地道にコツコツと努力して参りますので、本年も、どうぞよろしくお祈りします！！

「“思い”と“行動”を両立させましょう！」



昨年9月に開催したビジネスプラン特別講演会の中で、講師をおつとめいただいた海洋冒険家の白石康次郎さんが、『人生は、自分の思った通りになる』とおっしゃっていました。

『「どうせ自分は・・・」とか「いつかは自分も〇〇をやりたいんだけど・・・」とか思っている人は、10年後も同じことを言っている。なぜなら、「どうせ」とか「いつか」と思い(=願い)、その状態を自分でオーダーしているようなものだから・・・』

そんなお話しも、ございました。やはり、まずは、正しく「思い」を定め、そちら(=目指したい方向)に舵を切ることが、何より大事なのだと思います。

ただし、白石さんの言葉の真意は、「思うだけで夢は叶う」といったような、耳心地がよいだけの話しとは、似て非なるものです。というか、そんなに生易しくはありません。

例えば、「筋肉ムキムキになりたい！」と強く思い、願ったとしても、ある日突然、腹筋が割れていた・・・なんてことはあり得ませんよね(当然ですけど 笑)。実際には、正しいやり方で、地道に筋トレをこなしていくしかないはず。それと同じように、どんな願いも、「思う」だけではダメで、やはり、「そのためにどういった行動を起こすのか？」が求められます。

言い換えると、「思い」のレベルが高いほど、「行動」量が求められるということ。

「行動」を起こし、その過程で専門性や人間性を磨き、自分自身が、望んだ願いを受け入れるにふさわしい器に成長できた時、初めて「思い」は叶うのではないのでしょうか。

白石さんから、そんなことを教わった気がします。

まずは正しく「思い」、そしてそのための「行動」を起こす。2018年は、「思い」と「行動」を両立させて参りましょう！



社内見学会



社員の誕生日に感謝を込めて書く「ありがとうカード」について説明しています。皆さん、熱心に聞いて下さいました。

昨年の10月3日、弊社において、見学会を開催しました。当日は、東京、茨城、神奈川、福島、栃木、埼玉、岡山から、会計事務所の所長先生、幹部の皆様含め、9名の方々のご来社され、当社の取り組みを紹介すると共に、弊社スタッフを交え、大変有意義な情報交流を図ることができました。ありがとうございます！



どういビジョンや経営理念で会社経営にあたっているのか、その想いを安野が熱く語っています。

セミナー紹介

平成29年10月27日開催
『未来会計セミナー』



講師 安野 広明

<ご参加者の声>

「図を用いた説明が分かりやすかったです。」
「値引きの怖さを知りました。しっかりとした目標を作って、計画を立てていきたいです。」

平成29年11月22日開催
『フラワー教室(クリスマスリース)』



講師 神田 恵美子 先生

<ご参加者の声>

「このように季節にあわせた催しは興味があっても、なかなか出来ないもので、初めてでしたがとても楽しかったです。」

本の紹介



『三国志』 著者:吉川 英治

もともとこの本を読んだきっかけは本屋で見た漫画でした。私と同じ名前の横山光輝氏の書いた漫画が面白くて、すっかり虜になり、小説も読んでみたいと購入したものです。

「三国志」は、中国の魏(ぎ)・呉(ご)・蜀(しよく)の三国が争覇した、三国時代の歴史を元に書かれた歴史小説です。劉備玄德や諸葛亮孔明など魅力ある人物がたくさん登場し、その活躍を一度読み出したら止まりません。文庫本では全8巻ですが一気に読んでしまいます。時代が変わっても色あせない名作だと思います。

萬田 光輝





「社風の良さは、“感動”を生み出す」



昨年末、羽田空港内のとあるお店で、好物のカツカレーを食べていた時のこと。

もともとそのお店は、店員さんの接客態度が素晴らしいのですが、その時は、接客態度に加えて、気付いた点がございましたので、書き記したいと思います。

..それは、ほんの些細な出来事でした。

ある店員さん(=若い女性)が、私の近くのテーブルのお皿を片付ける時、ちょっとしたミス(といってもスプーンを床に落とした程度)をしました。その際、近くにいた別の店員さん(=ベテランの女性)が落ちた物をささっと拾い上げ、さりげなくフォローしていたのです。(..ざっくりな説明ですいません。カツカレーに夢中になっており、よく見ていませんでした..汗)

大事なのは、その後。

ミスをした若い店員がフォローしたベテラン店員に対して、「ありがとうございます」と言ったのはもちろんのこと、すかさず、ベテラン店員も、「いえいえ、ありがとうございます」と返していたのです。それも、心からそう思っているのが伝わってくるような言い方でした。

実際に、ベテラン店員が言った「ありがとう」は、「相手の“ありがとう”というお礼に対する“ありがとう”」なのか、「いつも頑張ってくれて“ありがとう”」なのか、その両方の気持ちがこめられていたのかは、よく分かりません。ただ、このお店は、お互いを尊重し合い、よい人間関係が築けているのだな~という印象を受けたのは事実です。

と同時に、店員どうしのやりとりを側で聞いていた私の心にも、なんだか温かいものを感じました。カレーの辛さで体が熱くなっているのとは異なる(笑)、自分の内側から滲み出てくるようなほっこりした気分とでも言いましょうか。

別に、その店員さんは、私に対して優しく声をかけてくれたとか、私と直接のやり取りがあった訳ではありません。にもかかわらず、第三者である私の心に響くものがあった..。

そのように考えると、人は、自分以外の他者どうしが、互いに尊重し合い、一生懸命に頑張っている姿を見て、感動できる生き物なのだな~と、改めて感じます。

分かりやすい例で言えば、高校野球なんていうのはその典型かもしれません。チームメイトを信じ、互いに励まし、カバーし合い、一生懸命になっている姿に、人々は感動し、時に涙を流すのです。

そして、このことを会社に置き換えると、1人1人の社員がお客様を感動させようと努力するのはもちろんのこと、社内にいるメンバーどうしが、互いに尊重し合い、励まし合い、一所懸命に頑張っている姿も、きっと、お客様の感動につながるのではないかと、そのように思います。

社風の良さは、お客様の感動にもつながっている。
カツカレーを食べながら、そんなことを考えました。

「“安心・安全・ポジティブな場”を生み出すために」



以前、私が師事しているコンサルタントの先生から、全体会議やミーティングで成果を出すためのキーワードは、「安心・安全・ポジティブな場づくりである」と教わりました。

これとは逆に、成果が出づらい会議とは、「不安・危険・ネガティブな場」だそうです。

確かに、何を言っても批判・否定される、もしくは吊し上げられる(!?)のような空気感のある会議では、誰も発言したくありませんし、萎縮しますし、黙って下を向いてしまいます(汗)。

そんな会議では、そこから何かアイデアやヒントが生まれるとは思えませんよね。

では、「安心・安全・ポジティブ(=略してAAP)な場」、つまり、何を言っても聞いてもらえる、受け止めてもらえる空気感をつくり出すための本質は何かと言うと、それは、「聞く人の姿勢」です。

とりわけ、トップや幹部の聞く姿勢は、その場の雰囲気には大きな影響を与えることになります。

そして、そのためにも、

言葉・肯定、承認、元気を与える、褒める
表情・笑顔
態度・背筋を伸ばす、身なりをきちんとする
行動・有言実行



の4つがポイントになるのだとか。

正直、私もまだまだできておらず、反省ばかりですが、せっかく同じ時間を使うのであれば、メンバー全員が上記のようなことを意識し、安心・安全・ポジティブで成果の上がる場を生み出したいものです。

< 安野からのおすすめコーナー >

*このコーナーでは、私が独断と偏見により選んだ、おすすめの本や映画等を紹介いたします。何かの参考にさせていただけると幸いです！

▶▶ 漫画「キングダム 1～48巻(連載中)」(原泰久 著)

中国の春秋戦国時代を舞台に、大將軍を目指す少年・信(しん)と後の始皇帝となる秦国の若き王・政(せい)の活躍を中心に、戦乱の世を描いた人気作品。圧倒的な熱量の絵と物語りに引き込まれつつ、様々なタイプのリーダーシップを学ぶことができます。

▶▶ ビジネス書「模倣の経営学」(井上達彦 著)

トヨタもセブン-イレブンもスターバックスも、優れた企業を「真似て、超える」ことで成功した!? 「新たなイノベーションは徹底した模倣からこそ生まれている」と説く著者が、自社で生かせる“儲かる仕組み”を抽出する模倣の方法を、多くの会社の事例から紹介しています。

▶▶ 詩集「深呼吸の必要」(長田弘 著)

「そのとき、きみはもう、一人の子どもじゃなくて、一人のおとなになってたんだ。」・長田弘さんの作品の中でも、私の好きな「あのときかもしれない」が収録されている詩集です。読むたびに、心に染み入るものがあります。

▶▶ 映画「アポロ13」(製作1995年、主演トム・ハンクス他)

1970年に起こったアポロ13号(有人月飛行)事故の実話に基づく作品です。絶体絶命の危機に陥った時、リーダーとしてどのように処するのか? ジム・ラヴェル船長、ジーン・克蘭ツ主席飛行管制官の言動に、しびれました。